

海津市コミュニティバスの状況（案）

平成27年10月に路線を再構築し、デマンド交通を導入しました！

海津市では平成27年10月にコミュニティバスの路線を8路線から3路線に再構築し、利便性の高いデマンド交通を導入しました。

- 目的地までの迂回を減らし、所要時間の短い路線に再構築しました。
- デマンド交通の停留所は半径300mの徒歩圏内を目安に市内356か所（市外3か所）に設置しました。



利用者の意見や利用状況を踏まえ、定期的に見直しを行っています。

市負担額と利用者数

運行経費は増加しましたが、国庫補助の活用により、市負担金は減少しています。しかし、路線の減少に伴い、利用者も減少しています。

	運行経費	海津市の負担額	年間利用者数
平成27年度	1億800万円	9,990万円	149,769人
平成30年度	1億1,800万円 増	9,480万円 減	100,055人 減

バスに対する海津市の負担

※海津市の負担額は、県補助金及び羽島市負担金を含みます。

●コミュニティバス・デマンド交通収支内訳（平成30補助年度）

運行経費の約8割は海津市の負担でまかなわれています。

支出	運行経費 1億1,800万円		
収入	海津市の負担額※ 9,480万円(80.3%)	運賃収入 1,560万円 (13.2%)	国庫補助 760万円 (6.4%)

市民1人あたり年間2,710円を負担

四捨五入や端数調整をしているため、実際の金額と差異がある場合があります。

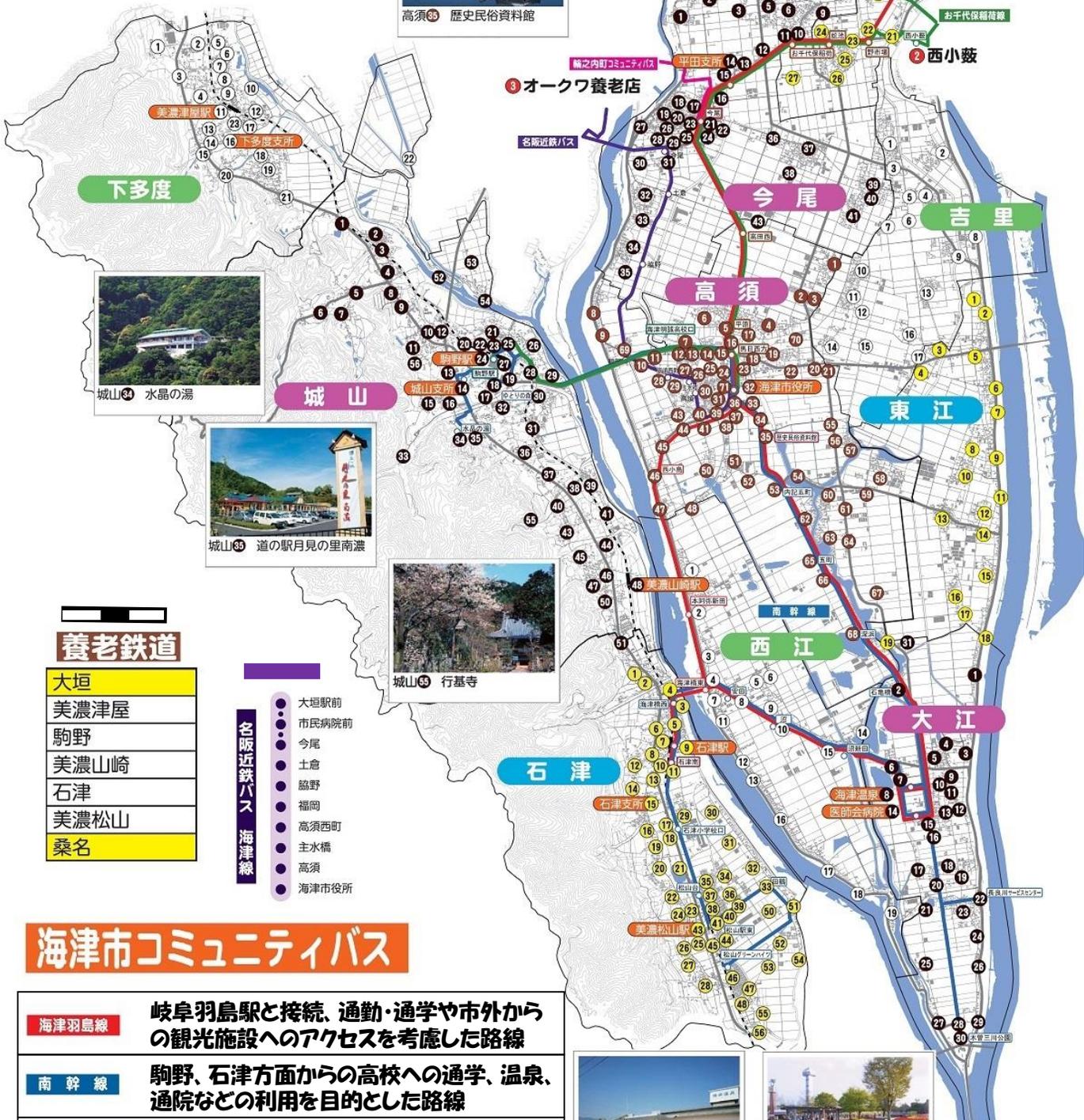
●各路線の市負担金と利用者数(平成30補助年度)

	市負担金	年間利用者数	市民1人あたり 年間負担額	利用者1人あたり 市負担額
海津羽島線	3,200万円	42,843人	920円/人	750円/人
南幹線	1,990万円	33,031人	570円/人	600円/人
お千代保稲荷線	190万円	4,423人	50円/人	430円/人
デマンド交通	4,100万円	19,758人	1,170円/人	2,080円/人
合計	9,480万円	100,055人	2,710円/人	950円/人

⇒裏面の海津市コミュニティバス路線図もご覧ください。

デマンド交通停留所

海津地区	155か所
平田地区	70か所
南濃地区	131か所
市 外	3か所
停留所総数	359か所



養老鉄道

大垣
美濃津屋
駒野
美濃山崎
石津
美濃松山
桑名

名阪近鉄バス

- 大垣駅前
- 市民病院前
- 今尾
- 土倉
- 脇野
- 福岡
- 高須西町
- 主水橋
- 高須
- 海津市役所

海津市コミュニティバス

海津羽島線	岐阜羽島駅と接続、通勤・通学や市外からの観光施設へのアクセスを考慮した路線
南幹線	駒野、石津方面からの高校への通学、温泉、通院などの利用を目的とした路線
お千代保稲荷線	平日の朝夕のみ運行、高校への通学路線



⇒裏面の海津市コミュニティバスの状況もご覧ください。